

【R6テーマ 全教職員による協働実践・1つのチームとして】

# 学校経営方針

## 1 はじめに

児童・生徒、保護者、日本人コミュニティー、関係機関、教職員にとって、  
**行ってよかった学校** (児童・生徒)

**通わせてよかった学校** (保護者・日本人コミュニティー・関係機関)

**勤めてよかった学校** (教職員)

を目指した学校づくりを推進していきます。

日本国文部科学省が認定した在外教育施設日本人学校は世界に94校あります。アブダビ日本人学校もその中の1校で文部科学省より派遣された教員が文部科学省の定める学習指導要領に則り、児童生徒の日々の教育に携わっています。

1978年にアブダビ日本人学校は、在アラブ首長国連邦日本国大使館附属日本人学校として、日本と同等の教育をアブダビで暮らす日本国籍児童生徒に行うために設立されました。また、日本政府の在外教育施設教員派遣制度に即し、アブダビ日本人学校設立母体であるアブダビ日本人会並びに学校運営理事会、保護者、関係機関と協力し教育課程を推進しています。

本校は94在外教育施設日本人学校中唯一外国籍(UAE国籍)児童生徒を正式に受け入れている日本人学校です。2004年、アラブ首長国連邦現大統領であるアブダビ首長国ムハンマド皇太子からの働きかけを日本政府が受け入れこのプロジェクトが始まりました。2006年から付属幼稚園に第一期生が入園しました。幼稚園、小中学部12年間の教育を終え、本校を卒業したUAE国籍生徒は日本の高校、大学へ進学しています。日本人学校としては特異な学校ですが、日本国籍児童生徒、UAE国籍児童生徒が共に学んでいます。日本とUAEを繋ぐ架け橋となる人材育成のために、多くの関係者がこのプログラムに心血を注いでこられました。この歴史を振り返るとき、それを受け継ぐ私たちは本プログラムの意義と責任を感じずにはられません。

本校は日本国籍児童生徒とUAE国籍児童生徒が共に学び、日々の関わりが国際交流の場となっています。また、教職員も文部科学省派遣教員、学校採用呼び寄せ教員、学校採用教職員、NPO法人日本UAE青少年児童育成交渉協力会派遣教員、ADEK教員と様々な任用の教職員が勤務しています。子どもたちが国境を越えて互いに学び合い、磨き合い、高め合う学習集団となる必要があります。全教職員が任用の違いを超えて、1つの組織、チームJSADとして協働実践していくことが最も教育効果が上がる教育活動となります。児童生徒、教職員共に互いに関わり合い、高め合うことが重要です。

全ての子どもたちには無限の可能性があると確信しています。だからこそ、子どもたち一人一人が自分の夢を描き、その夢の実現に向けた目標をもち、自らの高い目的意識と自らの力で達成しようとする心を育みたいと考えています。そして、日本とUAEにとってグローバルな人材として世界に誇れる国際性、社会性、知性、感性を身につけさせたいと考えています。情報社会がますます加速し、社会情勢が大きく変化するに伴い、学校教育に対する保護者の皆様からの期待が高まっている中、それぞれの願いを真摯に受け止めながら、学校経営方針の具現化に努めていきます。そして、私たち全教職員が一丸となり、柔軟に対応し、同一歩調で協働実践しながら、学校教育目標「優れた知性、たくましいからだ、ゆたかな心と国際性を備えた児童生徒の育成」の達成を目指して教育活動に専念していきます。

## 2 学校教育目標

優れた知性、たくましいからだ、ゆたかな心と国際性を備えた児童生徒の育成

## 3 学校経営理念

### <児童・生徒の育成>

- ・日本国籍児童生徒とUAE国籍児童生徒が共に学び合い、磨き合い、高めあう子どもを育成します。
- ・自分にきびしく、相手にやさしく、夢をもって世界にはばたく子どもを育成します。
- ・日本とUAEの歴史や文化を学び、あらゆる機会を通して国際貢献できる子どもを育成します。

### <保護者・関係諸機関との関わり>

- ・学校と家庭とが共に子どもを育てるという視点を基に、話し合いを大切にし、よきパートナーとしての関係を築いていきます。
- ・関係機関と連携を図り、共に子供たちを育てる、共育を進めていきます。

### <協働する教職員>

- ・学校経営方針の具現化を目指し、チームJ SADとして協働実践に励みます。
- ・真実を求め、教育の動向を捉え、優れた授業で勝負するために、常に自己研鑽に励みます。

## 4 具体的な重点取組事項

### (1) 「優れた知性 の育成」について

- ・「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善を計画的に実施し、分かる授業の実践を図る。
- ・中学部教員の専門性を生かした授業改善を図るとともに、教員全体の指導力の向上と小中間のスムーズな移行を図る。
- ・個別学習と協同学習の充実のために、一人一台端末による「ICT教育」の充実を図る。
- ・コミュニケーションを中心とした「英語教育」の充実を図る。
- ・UAE国籍児童生徒の学習の基盤となる日本語の定着を図る。

### (2) 「ゆたかな心の育成」について

- ・教務部を中心とした小学部・中学部としての組織編成を行い、小中一貫教育の良さを継承しつつ、児童生徒の自主性、主体性を育むことをねらいとして、小中学部がそれぞれの独自性のある活動を推進する。
- ・日々の人間関係づくり活動を通して、一人一人の子どもが所属感を感じる学級づくりを行う。
- ・「凡事徹底」あいさつ、言葉づかい、服装、時間厳守、清掃活動等の指導の徹底を図る。
- ・「いじめ根絶」を目指し、早期発見早期対応とともに「未然防止」のための実践を図る。

### (3) 「たくましいからだの育成」について

- ・学年に応じて発達段階に即した基礎体力づくりを目指し、計画的、具体的な実践を図る。
- ・「チームワークの大切さや成就感の体感」を目指し、体育的学校行事等の充実を図る。

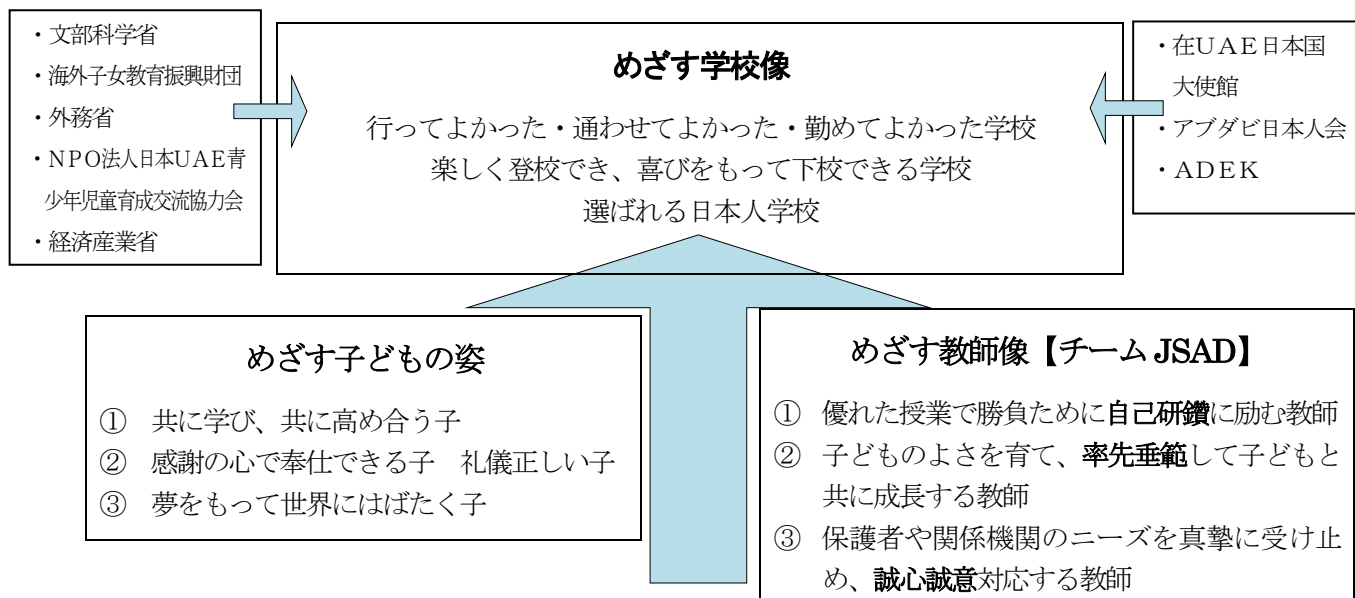
### (4) 「国際性の育成」について

- ・自らのアイデンティティーを大切にし、日本とUAEを互いに尊重し合う日々の交流活動を充実する。
- ・日本、UAEそれぞれの文化を尊重する心の醸成を目指し、互いの伝統行事等に触れる活動の充実を図る。
- ・「五感を通して学ぶ子」の育成を目指し、現地校交流、校外学習、社会見学等の体験活動の充実を図る。

## 5 学校経営グランドデザイン

### 学校教育目標

優れた知性、たくましいからだ、ゆたかな心と国際性を備えた児童生徒の育成



### 令和6年度 重点取組事項

～ 全教職員の協働実践による1つのチームとしての取組を通して、  
学校力を向上させ、教育効果をより高める ～

- ① 令和の日本型学校教育の構築を目指した具体的な取組を推進する。
- ② 「自立」「協同」「創造」の育成を目指した学校行事の精選と見直しを行う。
- ③ 一人一台端末によるICT教育の充実を図り、学習の個別化と協同的な学びを推進する。
- ④ 学習指導要領の着実な実施を目指して教育課程の見直しを行う。(授業日197日・週2回の7校時授業実施による週時程の見直し)
- ⑤ 教務部を中心とした小学部・中学部の組織編成により、小中一貫教育の良さを継承しつつ、小中学部がそれぞれの独自性を発揮し、児童生徒の自主性、主体性を育む。
- ⑥ 教育効果がより発揮できるための1つの組織づくりを行い、チームJSADとして協働実践の推進を図る。
- ⑦ 中学部教科指導を中心に「15の春」を見据えた授業改善を図り、小中一貫での教育力の向上を図る。
- ⑧ 日本語指導と教科指導の統合により、UAE国籍児童生徒の日本語の定着と学力の向上を図る。
- ⑨ 授業料及び学校事務の見直しを行い、教員が教育活動に専念できる学校環境を構築する。

教員一人一人が自らの力を発揮し、学校経営方針の具現化を図る